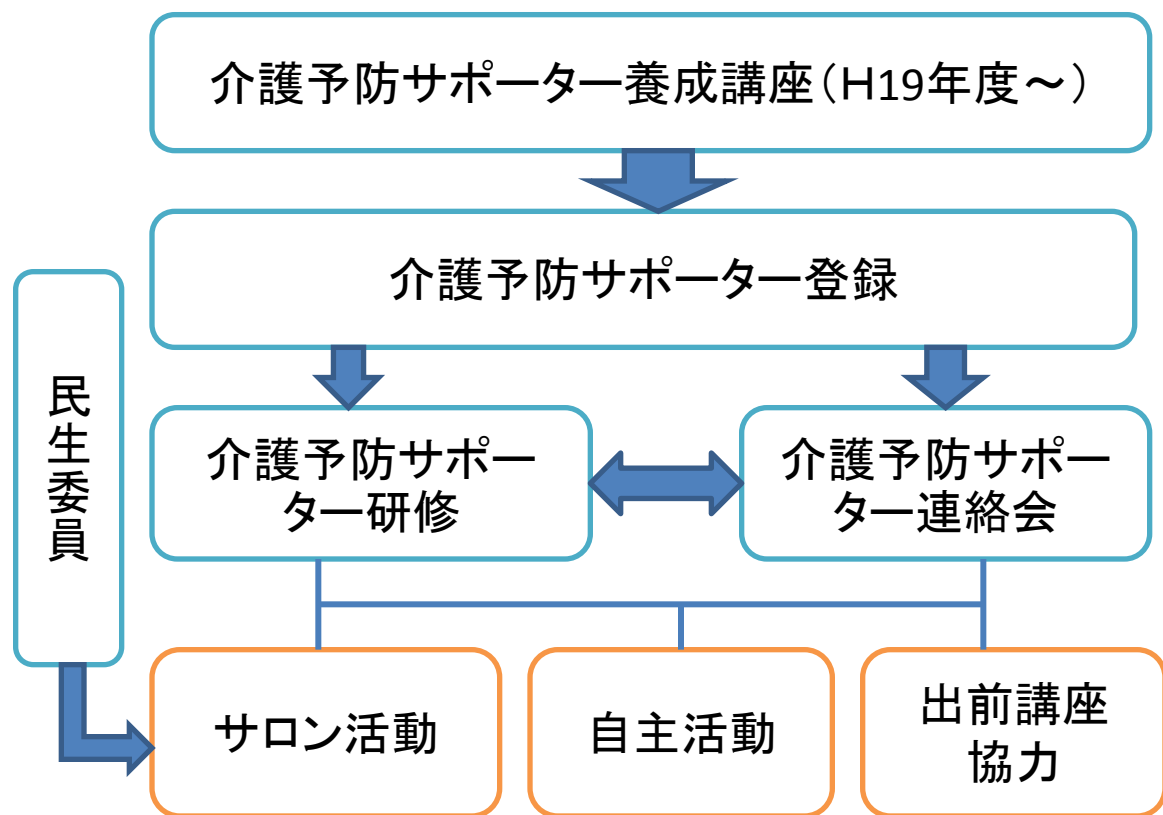


住民主体のサロン活動

- 「介護予防サポーター養成研修」を受けた受講生および民生委員が主体となって、小地域で「サロン活動」を立ち上げる。
- H23年度から実施し、市内3か所で活動中。





(徳島県)

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	阿波市
②人口（※１）	４０，４１５人（Ｈ２５年３月末現在）（ ）
③高齢化率（※１） （６５歳以上、７５歳以上それぞれについて記載）	２９．１％（６５歳以上）（ ） １６．３％（７５歳以上）
④取組の概要	介護予防サポーター養成受講者および民生委員が主体となって、地域の高齢者が集まる場を提供し交流活動（サロン活動）を行っているが、その活動支援を行っている。
⑤取組の特徴	従来の活動は行政主導で行われていたが、住民や民生委員などのボランティアが主体になって「サロン活動」を行うことで、住民が介護予防に対しても自主的に捉えるようになり、意識の高揚を図ることができる。
⑥開始年度	Ｈ２３年度
⑦取組のこれまでの経緯	介護予防サポーター養成講座を実施し地域でボランティア活動ができる人材育成を行った。広報誌でサロン活動の呼び掛けや民生委員協議会でサロン活動の説明を行い、ＮＰＯ法人の協力を得てサロン活動を立ち上げた。
⑧主な利用者と人数	地区住民
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	民生委員およびボランティア
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	地域支援事業（使用料 １２，０００円／年）
⑫取組の課題	サロン活動の実施箇所がまだ少ないため、市全域をカバーできていない。
⑬今後の取組予定	サロン活動の実施箇所を増やすために、介護予防サポーター受講生等を対象にサロン活動の紹介や広報等で啓蒙活動を実施。サロン活動の立ち上げ支援を行う。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	阿波市介護保険課（地域包括支援センター） 電話：０８８３－３６－６５４３

※１ 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※２ 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※３ 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。



地域ケア会議

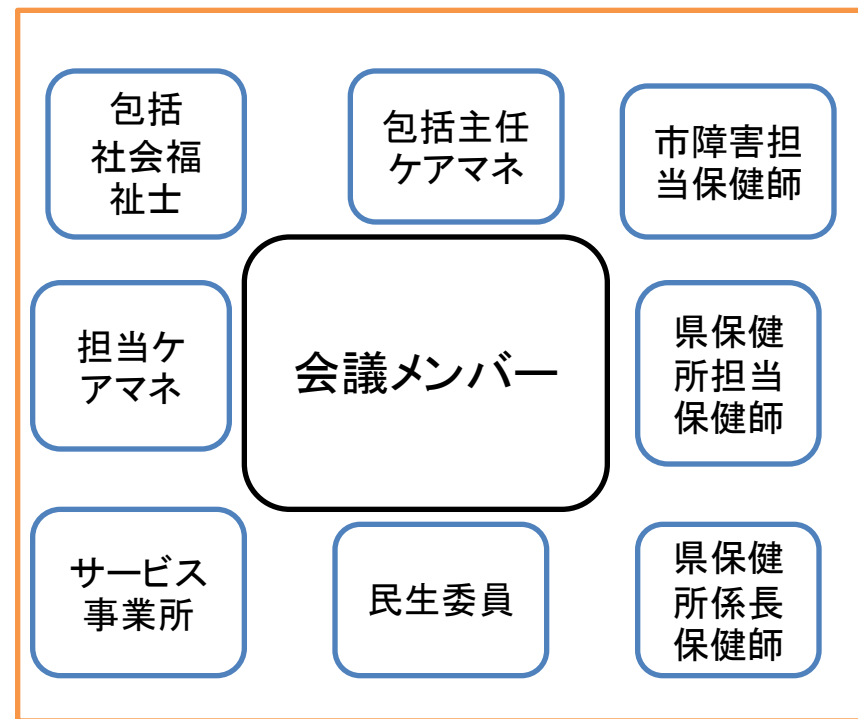
- ・ 地域での困難事例を対象に、『地域ケア会議』を開催。

【ケア会議事例】

テーマ「統合失調症および認知症のある独居高齢者」

《ケース概要》

- ・ 87歳 ・女性 ・要介護3
- ・ 認知症高齢者の日常生活自立度 IV
- ・ 障害者高齢者の日常生活自立度 J1
- ・ 介護サービスの利用状況について
訪問介護(生活支援) 毎日
- ・ キーパーソン 県外在住の虚弱な弟
- ・ 懸案事項
 - ①ヘルパー利用がスムーズに行えない。
 - ②家族の協力が得られない。
 - ③介護保険に対する理解がない。
 - ④周りのサポート体制について



地域ケア会議実施により

個別ケースの対応について、関係者で共通認識を図るとともに、処遇についてその都度協議。認知症高齢者のサポート体制については、地域住民に認知症に対する研修等を実施し、協力体制の確保に努めるような施策を検討した。